
第2回三朝町議会定例会会議録（第10日）

平成24年3月14日（水曜日）

議事日程

平成24年3月14日 午前10時開議

（質 疑）

- 日程第1 議案第3号 平成24年度三朝町一般会計予算
- 日程第2 議案第4号 平成24年度三朝町国民健康保険事業特別会計予算
- 日程第3 議案第5号 平成24年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計予算
- 日程第4 議案第6号 平成24年度三朝町介護保険事業特別会計予算
- 日程第5 議案第7号 平成24年度三朝町簡易水道事業特別会計予算
- 日程第6 議案第8号 平成24年度三朝町温泉配湯事業特別会計予算
- 日程第7 議案第9号 平成24年度三朝町下水道事業特別会計予算
- 日程第8 議案第10号 平成24年度三朝町集落排水処理事業特別会計予算
- 日程第9 議案第11号 平成24年度三朝町分譲宅地造成事業特別会計予算
- 日程第10 議案第12号 平成24年度三朝町会計事務集中管理特別会計予算
- 日程第11 議案第13号 平成24年度三朝町財産区特別会計予算
- 日程第12 議案第14号 平成24年度三朝町水道事業会計予算
- 日程第13 議案第15号 平成24年度三朝町国民宿舎事業会計予算
- 日程第14 議案第16号 三朝町地域の総合力を高め、自立を促進する条例の一部改正について
- 日程第15 議案第17号 三朝町被災者住宅再建支援条例の一部改正について
- 日程第16 議案第18号 三朝町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 日程第17 議案第19号 三朝町特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 日程第18 議案第20号 三朝町生活文化センター・町立みさき図書館の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 日程第19 議案第21号 三朝町介護保険条例の一部改正について
- 日程第20 議案第22号 三朝町特別医療費助成条例の一部改正について
- 日程第21 議案第23号 三朝町立福祉センターの指定管理者の指定について
- 日程第22 議案第24号 三朝町と鳥取県との間の職員の研修に関する事務の委託に関する規約を変

更する協議について

- 日程第23 議案第25号 鳥取中部ふるさと広域連合規約を変更する協議について
- 日程第24 議案第26号 定住自立圏形成協定の変更について
- 日程第25 議案第27号 三朝町過疎地域自立促進計画の一部変更について
- 日程第26 議案第28号 平成23年度三朝町一般会計補正予算（第7号）
- 日程第27 議案第29号 平成23年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
- 日程第28 議案第30号 平成23年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
- 日程第29 議案第31号 平成23年度三朝町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 日程第30 議案第32号 平成23年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 日程第31 議案第33号 平成23年度三朝町会計事務集中管理特別会計補正予算（第2号）
- 日程第32 議案第34号 平成23年度三朝町財産区特別会計補正予算（第1号）
- 日程第33 議案第35号 平成23年度三朝町水道事業会計補正予算（第2号）

本日の会議に付した事件

（質 疑）

- 日程第1 議案第3号 平成24年度三朝町一般会計予算
- 日程第2 議案第4号 平成24年度三朝町国民健康保険事業特別会計予算
- 日程第3 議案第5号 平成24年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計予算
- 日程第4 議案第6号 平成24年度三朝町介護保険事業特別会計予算
- 日程第5 議案第7号 平成24年度三朝町簡易水道事業特別会計予算
- 日程第6 議案第8号 平成24年度三朝町温泉配湯事業特別会計予算
- 日程第7 議案第9号 平成24年度三朝町下水道事業特別会計予算
- 日程第8 議案第10号 平成24年度三朝町集落排水処理事業特別会計予算
- 日程第9 議案第11号 平成24年度三朝町分譲宅地造成事業特別会計予算
- 日程第10 議案第12号 平成24年度三朝町会計事務集中管理特別会計予算
- 日程第11 議案第13号 平成24年度三朝町財産区特別会計予算
- 日程第12 議案第14号 平成24年度三朝町水道事業会計予算
- 日程第13 議案第15号 平成24年度三朝町国民宿舎事業会計予算
- 日程第14 議案第16号 三朝町地域の総合力を高め、自立を促進する条例の一部改正について
- 日程第15 議案第17号 三朝町被災者住宅再建支援条例の一部改正について

- 日程第16 議案第18号 三朝町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 日程第17 議案第19号 三朝町特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 日程第18 議案第20号 三朝町生活文化センター・町立みささ図書館の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 日程第19 議案第21号 三朝町介護保険条例の一部改正について
- 日程第20 議案第22号 三朝町特別医療費助成条例の一部改正について
- 日程第21 議案第23号 三朝町立福祉センターの指定管理者の指定について
- 日程第22 議案第24号 三朝町と鳥取県との間の職員の研修に関する事務の委託に関する規約を変更する協議について
- 日程第23 議案第25号 鳥取中部ふるさと広域連合規約を変更する協議について
- 日程第24 議案第26号 定住自立圏形成協定の変更について
- 日程第25 議案第27号 三朝町過疎地域自立促進計画の一部変更について
- 日程第26 議案第28号 平成23年度三朝町一般会計補正予算（第7号）
- 日程第27 議案第29号 平成23年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
- 日程第28 議案第30号 平成23年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
- 日程第29 議案第31号 平成23年度三朝町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 日程第30 議案第32号 平成23年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 日程第31 議案第33号 平成23年度三朝町会計事務集中管理特別会計補正予算（第2号）
- 日程第32 議案第34号 平成23年度三朝町財産区特別会計補正予算（第1号）
- 日程第33 議案第35号 平成23年度三朝町水道事業会計補正予算（第2号）

出席議員（12名）

1番 清水 成 眞	2番 藤 井 克 孝
3番 吉 田 文 夫	4番 福 田 茂 樹
5番 遠 藤 勝太郎	6番 平 井 満 博
7番 松 村 修	8番 横 木 文 雄
9番 知久馬 二三子	10番 山 田 道 治
11番 杉 原 憲 靖	12番 牧 田 武 文

欠席議員（なし）

欠 員（なし）

事務局出席職員職氏名

局長 ————— 石 井 秀 己 事務局長補佐 ————— 山 中 恵 子

説明のため出席した者の職氏名

町長 ————— 吉 田 秀 光 副町長 ————— 森 脇 光 洋
会計管理者 ————— 松 原 茂 隆 総務課長 ————— 朝 倉 聡
財務課長 ————— 大 村 哲 也 税務課長 ————— 石 原 伸 二
企画観光課長 ————— 松 浦 弘 幸 農林課長 ————— 早 苗 睦 巳
町民課長 ————— 山 根 猛 昭 建設水道課長 ————— 岩 山 靖 尚
健康福祉課長 ————— 前 田 敦 子 総務課地域づくり担当参事 吉 田 弘 幸
総務課危機管理担当参事 — 松 原 照 宗 農業委員会事務局長 ——— 真 嶋 峰 和
教育委員会委員長 ————— 山 本 邦 彦 教育長 ————— 山 口 博
教育総務課長 ————— 遠 藤 英 臣 生涯学習課長 ————— 山 根 智 美
生涯学習課参事 ————— 平 井 文 彦 農業委員会会長 ————— 山 本 雅 之
代表監査委員 ————— 和 泉 澤 吉 国民宿舎事業管理者 ——— 知久馬 孝 紀

午前 9 時 5 7 分開議

○議長（牧田 武文君） おはようございます。

ただいまの出席議員は 1 2 名であります。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日、届け出のあった欠席者は、議員、当局ともございません。

以上、報告します。

本日の議事日程は、お手元に配付しているとおりであります。

日程第 1 議案第 3 号 から 日程第 3 3 議案第 3 5 号

○議長（牧田 武文君） お諮りいたします。議事の進行上、この際日程を変更して、日程第 1 から日程第 3 3 までの 3 3 件の議案を一括議題といたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 御異議なしと認めます。よって、この際、日程を変更して、日程第1から日程第33まで、すなわち議案第3号から議案第35号までの33件の議案を一括議題といたします。

これより質疑に入ります。

質疑は、議事の進行上、1件ごとに議案の順を追ってすることといたします。

議案第3号、平成24年度三朝町一般会計予算について、本案に対する質疑は、第1条の歳入歳出予算から行います。

まず、歳出の1款議会費から2款総務費、31ページから42ページまで、質疑ありませんか。9番。

○議員（9番 知久馬二三子君） 39ページの諸費のところの自治会振興交付金ですけども、これは説明資料では21ページに書いてあります集落への均等が5万4,000円と世帯割が1,400円と書いてありますけれども……。

○議長（牧田 武文君） ちょっと済みません、知久馬議員さん、31ページから42ページまで。

○議員（9番 知久馬二三子君） だったでしょ。だから35ページに書いてあるんです。

○議長（牧田 武文君） 済みません、35ページ、間違えとった。ええです。

○議員（9番 知久馬二三子君） 41ページまでって言われたでしょ。今のは35ページって。

（「39ページと言った」と呼ぶ者あり）5ページと言いましたよ、私。（発言する者あり）9ページって言いましたか。

35ページのこの自治振興交付金の分ですけども、これは各部落にそれぞれ配置してありますけれども、この結果等についての報告というもんはしてないんでしょうか、お伺いします。

○議長（牧田 武文君） 総務課、吉田参事。

○総務課地域づくり担当参事（吉田 弘幸君） 自治振興交付金につきましては、自治振興交付金の交付要綱に基づいて各区長さん等に支払っていますが、これについては実績報告は要しないということになっておりますので、交付してということでございます。以上です。

○議長（牧田 武文君） 9番。

○議員（9番 知久馬二三子君） では、交付要綱にそのことが書いてあるんですか。報告しなくてもいいということが書いてあるわけなんですね。私は、この665万円という大きなお金が出てますので、その辺で地域のどういう状況だったかということをやはり報告があってもいいと思うんですけども、その辺もう一度。

○議長（牧田 武文君） 吉田参事。

○総務課地域づくり担当参事（吉田 弘幸君） 三朝町補助金等交付規則第17条の実績報告は、これを要しないということに書いてあります。

○議長（牧田 武文君） 9番。

○議員（9番 知久馬二三子君） わかりました。

○議長（牧田 武文君） 3番。

○議員（3番 吉田 文夫君） 資料説明書の方の33ページになるんですが、この防災拠点の役場庁舎の耐震の問題ですが、これ231万予算が出てます。これたしか町長は、前回の全協のときに本町の耐震は大丈夫だという説明がありました。本町は大変大きな岩盤の上にあって、耐震問題は安心ではないかという答弁が全協のときにあったんですけどね、この予算を立てられたということは大体いつ、ことしの予算ですが、上期でやられるのか下期でやられるのか。

そして、この震度は一体何度に耐えられるだけの補強をしていくのかということですね。

来年度予算が今回1回だけの予算なのか。また来年もやるのか。1回でこんだけできるのか。その説明を。

○議長（牧田 武文君） 松原参事。

○総務課危機管理担当参事（松原 照宗君） 失礼します。

耐震のことにつきまして、庁舎の耐震につきましては、昭和46年の耐震基準にのっとり震度5強ということがありますので、その耐震診断を行うということでございます。

まず第1回、どういう状況なのかということ进行调查し、その後また耐震補強が必要だということになりますと、また経費が必要となってきます。以上です。

○議長（牧田 武文君） 3番。

○議員（3番 吉田 文夫君） ちょっと今、説明がわかりにくかったので、もう一遍言ってください。

○議長（牧田 武文君） 松原参事。

○総務課危機管理担当参事（松原 照宗君） 今の基準でいきますと現在の基準を満たしていませんので、それに対する耐震診断をまず行います。その後、耐震の強度がどうなのかということが判断された後、またそれに対する補強なりの計算というかそういったことをしていただいて、予算をつけていきたいというふうに思います。

○議長（牧田 武文君） 3番。

○議員（3番 吉田 文夫君） 今まではしてなかったんで、今後対応するための予算だということ

とですね、これは。そういう意味ですね、内容は。

それで震度はどれぐらいに対応できるような、補強のことも多分入っと思うんですが、その点は。

○議長（牧田 武文君） 松原参事。

○総務課危機管理担当参事（松原 照宗君） 震度につきましては、今後検討という形になると思います。以上です。

○議長（牧田 武文君） 答弁漏れで、上期か下期かちゅうことがございましたけど、答弁をお願いします。

○総務課危機管理担当参事（松原 照宗君） なるべく早い時期にさせていただきたいというふう
に思っております。

○議長（牧田 武文君） 3 番。

○議員（3 番 吉田 文夫君） いつも執行部は早い時期とか、できなんだとか……（発言する者あり）

○議長（牧田 武文君） ちょっと済みません、4 回目です。

○議員（3 番 吉田 文夫君） これについてはいいです。

○議長（牧田 武文君） 早い時期ということ、上期ということに解釈してもらったらいんじゃないかと思います。

9 番。

○議員（9 番 知久馬二三子君） 35 ページの交通災害共済の加入促進費の100万円の件ですけども、この内容は何かをお聞きしたいです、1 点は。26 ページの説明資料。これは危機管理になってますよ。

○議長（牧田 武文君） 松原参事。

○総務課危機管理担当参事（松原 照宗君） 交通災害共済加入推進費のことでしょうか。

○議員（9 番 知久馬二三子君） そうです。

○総務課危機管理担当参事（松原 照宗君） 交通災害加入推進費につきましては、事務費それから通信費等、あわせてもう一つは交通災害加入推進補助金という形で、各分会に1人当たり70円加入者に対して払っておるという予算でございます。

○議長（牧田 武文君） 9 番。

○議員（9 番 知久馬二三子君） 今の加入者は何人ほどでしょうか。

それと、あわせて人口に対して何%ぐらいの加入状況でしょうか。

○議長（牧田 武文君） 松原参事。

○総務課危機管理担当参事（松原 照宗君） 現在、これはまだ23年度になりますけども、加入者全員で4,949人でございます。加入率は68.6%でございます。

○議長（牧田 武文君） 9番。

○議員（9番 知久馬二三子君） これは本当にいい制度だと思いますので、中には加入されん方がありますが、大いに奨励していただきたいと思います。今後、その加入率を伸ばすような方策はありませんか。それを聞いて終わります。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） 37ページ、三朝町キラリと光る町づくり支援交付金200万、説明資料で22ページ。全協でも説明があったわけですけども、元気な地域づくりの支援事業ということで、この支援対象というのは地域協議会になるのか集落になるのか、あるいは何らかの団体になるのかということで認識すればいいわけですか。それともNPOみたいな団体でもこれは対象になるのかということをお聞きしたい。

○議長（牧田 武文君） 吉田総務課参事。

○総務課地域づくり担当参事（吉田 弘幸君） 対象につきましては、地域づくりに意欲がある町民、町民で構成する団体、それから町内の集落、企業、町内に事務所を有する者に限ります。ということで、1年1回限りということでございますので、そういったことに該当するものは対象ということにしております。以上です。

○議長（牧田 武文君） 4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） その金額の上限は幾らだったのかというのをもう一回確かめたいというのと、その下の目的にあります明日の三朝町を担う人材育成事業、非常にわかるようではないような、これも対象というのが非常に不透明だというふうに思うんですけども、これもあわせてどういうところを対象にしているのかをお聞きしたい。

○議長（牧田 武文君） 吉田参事。

○総務課地域づくり担当参事（吉田 弘幸君） 2本立てにしておりまして、元気な地域づくり支援事業につきましては3分の2補助で上限が20万。それから、明日の三朝町を担う人材育成事業につきましては5分の4補助で上限が30万でございます。

人材育成のこの対象事業の例でございましたか、これにつきましては海外ホームステイ活動とか海外語学研修活動を予定しております。以上です。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

○議員（4番 福田 茂樹君） はい。

○議長（牧田 武文君） 11番。

○議員（11番 杉原 憲靖君） 予算書38ページ、説明資料では23ページの空き家バンク事業、これは定住対策費として予算が上がっておりますが、現在のこの空き家バンク事業の実態についてまず最初に伺いたい。

○議長（牧田 武文君） 総務課、吉田参事。

○総務課地域づくり担当参事（吉田 弘幸君） 今回の空き家バンク事業の実態ということでの問い合わせだったと思いますが、今、空き家バンク事業のこれは空き家情報の登録ということと、それから定住希望の方の利用の登録ということがありまして、今、空き家の登録についてはゼロ件です。それで、定住者の方の情報を利用したいという方は3名おられます。以上です。

○議長（牧田 武文君） 11番。

○議員（11番 杉原 憲靖君） この空き家の有効活用というのは非常に大事なあれなんですけども、取り組みとしては定住につながる課題だと思っておりますが、特に私が心配するのは、山間集落の中にもう既に住まいをしておられないという空き家の実態がありますね。これはもう5年10年20年とすると崩壊をしていく、もう手のつけようのないようなそういう実態というものが特に山間集落の空き家の実態があると思うのですが、そういうあれを放置をしていくという、空き家のこの定住対策につながるかつながらんかは別問題として、そういった空き家に対する一つの手だてというか考え方のあれもしっかり持たないけないという、そういったことがあると思うのですが、その辺の考え方も、定住につながるかどうか、この予算との直接的なことはないにしても、この実態に対する取り組みをどうしていくか、この辺についての考えを伺いたいと思っております。

○議長（牧田 武文君） 吉田参事。

○総務課地域づくり担当参事（吉田 弘幸君） 空き家のバンク事業でやりますのは、ちょっと語弊があるかもわかりませんが空き家として利用可能な空き家を情報を登録しまして、それと空き家を利用したいという方のマッチングといいますか、そういったことをつなげるのが空き家バンク事業でございます。に伴って、あと県外等から定住したいという方の今回計上しております空き家改修補助金につきましては、県外から5年以上住みたいというようなところのマッチングをして、成立したらということを考えております。以上です。

○議長（牧田 武文君） 11番。

○議員（11番 杉原 憲靖君） 私の言いたかったのは、まずその実態が要するに奥部の集落であ

れこの近くの都市部と言ったら変な言い方ですけども、里部のそういった空き家の実態、まず全町的に今の現状がどういう実態にあるかというそのことの実態は調べておられるのか。その辺をまず掌握するということが一番大事な最初の出発点だろうと思いますので、そのことのあれはしっかりと掌握していただきたいと思います。それだけ申して終わります。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

10番。

○議員（10番 山田 道治君） 地域戦略会議についてですけども、町民の方のいろんな意見を吸い上げるという意味では、委員はいろいろかわった方がいいというふうに考えるわけですけども、委員の任期と、またどういう選考方法をされているのか。また、私の考えについてはどう思われるのかお聞きしたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 松浦企画観光課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） 地域戦略会議についての御質問でございます。

まず、メンバーは、まず町が今年度は3つのテーマに絞って行っておりますけど、そのテーマに絞って町民の方に公募をいたします。それから、公募が少ない場合はそういった子育てだとかそういうテーマに沿って活動される方に声かけをして、そういった団体もあるわけで、そういった団体で活動される方にお声かけをして、賛同いただける方にその定められた人数の委員として構成をしているというところでございます。

それから、任期は1年でございます。

○議長（牧田 武文君） 10番。

○議員（10番 山田 道治君） ころころ委員さんはかわられた方がいろんな意見が出ていいかなと思うんですけども、1年ごとに交代されるのか、その辺もちょっとお聞きしたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 松浦課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） 毎年募集をしておりますので、1年ごとに交代をしております。

○議長（牧田 武文君） よろしいですね。

ほかに。

先ほど、知久馬議員の方からの答弁漏れがございましたので、松原参事。

○総務課危機管理担当参事（松原 照宗君） 失礼します。

交通災害加入状況につきましてはだんだんと加入者数が減っておりまして、中部では57.8%という状況にあります。それでふるさと広域連合と一緒に町内を何か所かという形で加入促進に回りたいということで、また考えておるところでございます。これから加入促進に向けて、も

う少し頑張っていきたいというふうに思います。よろしくお願いいたします。

○議長（牧田 武文君） よろしいでしょうか、知久馬議員。

ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、3款民生費、42ページから48ページまで、質疑ありませんか。

9番。

○議員（9番 知久馬二三子君） 43ページの生活介護事業の分ですけれども、現在該当者というのは何人ぐらいあるものでしょうか。

○議長（牧田 武文君） 前田健康福祉課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 生活介護事業費でございますが、これにつきましては自立支援法の旧法から新体系へ移行するというふうなことで、現在とはまた体系が違うものでございますが、この新年度予算といたしましては20名の方の予算を計上させていただいております。

○議長（牧田 武文君） 9番。

○議員（9番 知久馬二三子君） それと、施設入所支援事業費というのもありますけれども、これも何人ぐらいの該当者になっとるのでしょうか。

○議長（牧田 武文君） 前田課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） これにつきましても先ほど申し上げたように新体系移行でございますが、同じく20名の予算を計上させていただいております。

○議長（牧田 武文君） よろしいですね。

○議員（9番 知久馬二三子君） この件についてはいいです。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） 43ページ、社会福祉協議会の補助金、昨年から補助金の出し方、考え方が変わったというふうに認識をしておるわけですけども、再度この補助金に対する出し方といえますか、考え方を確認をしたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 前田健康福祉課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 社会福祉協議会の補助金でございますが、大きく分けまして2つございます。この中に1点、福祉センターの管理経費相当分でございます。これともう一つ、地域福祉活動事業補助金でございます。以上です。

○議長（牧田 武文君） 4 番。

○議員（4 番 福田 茂樹君） それは基本的に説明書に書いてある。それだけ読んでもらっても何か困るような気がするだけでも、もう少し具体的に、何かもう少し幅が広いと思うんですけども、説明資料を読んでいただいてもだめだと思うんですよ。

○議長（牧田 武文君） 前田課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 失礼いたしました。

管理経費相当分といたしまして、福祉センターの管理経費でございます。例えば光熱水費、燃料費等でございますが、これに関して管理相当分を案分いたしまして、ほかの介護保険事業等の部分は省いた部分でございます。それを1,025万5,000円計上させていただきまして、もう1点、地域福祉活動事業に対する補助金でございますが、これにつきましては例えば社協が実施しておられる愛の輪運動でありますとか、それからいきいきサロンあるいは地区別高齢者交流事業といったような地域福祉事業に対する何人役かというふうなことを計算をいたしました。それに対して、3分の2相当を補助をするというふうなことでございます。人件費と活動経費でございます。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

4 番。

○議員（4 番 福田 茂樹君） 要は、三朝町が広い地域を持つ中でいろんな事業をする上で、他の民間事業者が入っていけない部分、いわゆる町がしなきゃいけない部分に対しての補助をしているというふうに、地域の方の補助事業というふうに認識して、そんなに対して補助金を出しているというふうに思えばいいですか。

○議長（牧田 武文君） 前田課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 議員がおっしゃるとおり、町が本来しなければならないところ社協にお願いをしているというふうなことでございます。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

9 番。

○議員（9 番 知久馬二三子君） 45 ページの高齢者住居環境整備事業補助金ですけども、これは要介護の認定者でなければいけないということが書いてあります。その中で、例えば住居でトイレを改良しようかと思った場合に、ほかの方のところに建てるようなことはいけないわけなんですか。例えばそこに今現存しとるトイレを改良するでなくして、それはちょっといけんやになつとるのでほかの方に建てたいというのは該当しないものでしょうか。その辺。

○議長（牧田 武文君） 前田課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） この予算ではなく、介護保険事業に該当するものでございます、トイレ改修につきましては。そのトイレ改修につきましては、新設ではなく現在あるものを改修して使いやすくするというふうなものに対する給付事業でございます。

○議長（牧田 武文君） 9 番。

○議員（9 番 知久馬二三子君） やっぱりならほかの方に、その隣にあってでも隣の方にしてもいけないわけなんですか。今あるものを、例えば洋式にするとかというようなことでないといけないわけなんですか。大変に不便にしておられる方があって、一度ほかの方にしたら該当しないからということがあったもので、念を押したいと思います。

それとあわせて、それはなら規則か何かによってそういうことができるわけなんですね。

○議長（牧田 武文君） 前田課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 介護保険事業に基づいて実施するものでございまして、トイレ等については新設ではなく改修ということでございます。

○議長（牧田 武文君） 9 番。

○議員（9 番 知久馬二三子君） じゃふろなんかもそうですね。それを本当に声として上げていくようなことというのはできないものではないでしょうか。そういう要望があるということをやっばりどっかに訴えていくというようなことをできたらなと思いますけれども、その辺ひとつお願いします。

○議長（牧田 武文君） 前田課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 現在の制度上、難しい部分であるかとは思いますが、皆さんの御意見を聞く場というふうなところは、さまざまな場面でお聞きするというふうなことは可能であると思います。

○議員（9 番 知久馬二三子君） よろしくをお願いします。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

10 番。

○議員（10 番 山田 道治君） 仮称こども園についてですけれども、現段階ではソフト部門はこれから検討されるということでしたけれども、結局どういうものをイメージしたらいいのかということと、また山林部分の方の整備もこの費用には入っているのかどうかをお願いします。

○議長（牧田 武文君） 山根町民課長。

○町民課長（山根 猛昭君） 仮称みさきこども園につきましては、ソフト事業として現在保育士

さんとの話し合いということは始めておるところでございますが、施設のカリキュラムといひますか運営方法なりということにつきまして、新年度から大学の教授なりの方を招いていろいろな勉強会なり、内部での短大でありますとか保専でありますとか、そういう方々と一緒に検討するというふうなことは考えておるところでございますが、それと新たにこども園をうちより先にやっておられるところもございますので、そういう方の御意見も聞きながら、指導要領といひますか、その保育の内容なりを検討していくようなことを考えておりました、最終的には10月末から11月ごろに園児の募集をするという時期になりますので、そのころまでにはこういう内容でということをお知らせねばならんというふうに考えておりますので、そういうタイムスケジュールを考えながらやっていきたいというふうに考えておるところでございます。

周辺の山林につきましては、今回の事業費の中には計上はしておりません。ただ、町行造林地もございますし、それから周辺に竹林もございます。農林関係の予算の中で整備ができればなということで、その辺も含めてこれから協議をしたいというふうに考えております。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 10番。

○議員（10番 山田 道治君） ということは、まだ運営については未知数だということで理解してよろしいですね。

それから、竹林の方はこれからだと言われるけども、もう既に頭の中の方には入れられて進められるべきだと思いますけども、いかがでしょうか。

○議長（牧田 武文君） 山根課長。

○町民課長（山根 猛昭君） 具体的な話はこれからするということですが、内容といたしましては認定こども園の保育所型ということで考えておるところでございますが、その運営の内容をこれから詰めたいというふうに思います。

○議員（10番 山田 道治君） 山関係は。

○町民課長（山根 猛昭君） 山関係についても、これから農林課と協議をしたいというふうに考えております。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

ほかに。

6番。

○議員（6番 平井 満博君） 50ページの不妊治療費助成事業、確認ですけども、議案説明のときに日本一の制度というか三朝町が一番、日本一だということですけども、その内容的に何が

日本一なのちょっと説明をお願いします。

○議長（牧田 武文君） 前田健康福祉課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 不妊治療費でございます。これにつきましては、現在鳥取県と国の助成費が17万5,000円でございます。さらに、三朝町の場合には単町10万円の限度で上乗せというふうなことが現行でございます。その10万円の部分を20万円に増額をお願いするというふうなことでございまして、現在把握している段階では日本国内にはそのような事例がないというふうなことで、日本一というふうなことを申し上げました。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） ちょっとページが違っとったもんでして。

○議員（6番 平井 満博君） ごめんなさい。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

9番。

○議員（9番 知久馬二三子君） 45ページですけども、緊急通報安定確認事業のことなんですけれども、ひとりおりの人等の場合等については、その通報できない方がありませんかなと思うんです。そういう場合は想定しておられるかどんなかお聞きしたいですけど。

○議長（牧田 武文君） 前田健康福祉課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 緊急通報装置につきましては、ボタンあるいはペンダントで押しただけであればいいというふうなものでございます。

そういう方につきまして、例えば民生委員さんから御相談があったり、あるいは地域包括支援センターから受けて帰ったりというふうなことで、なるべく御不安がないような形での設置というふうなところをお願いしているところでございます。

○議長（牧田 武文君） 9番。

○議員（9番 知久馬二三子君） じゃその人たちには常時そういう方が、民生委員さんとか支援センターの方から行かれるでしょうけど、いざそれこそ突然にひとりおりですからどうにもならないというやなときがありませんかなと思うんですけども、それらのことについての対応はどうかなという気がしてまして、ちょっと私の体験から言わせてもらったところなんです。

○議長（牧田 武文君） 答弁はいいですか。

○議員（9番 知久馬二三子君） ちょっとどうに対応されるかもう一度。

○議長（牧田 武文君） 前田課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 大きく分けて、例えば緊急時には救急車をお呼びになるというふうなことがまず第1点かと思えます。それから、緊急通報装置につきましては見守りというふ

うな視点が大きいかと思えます。以上でございます。

○議員（9番 知久馬二三子君） いいです。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） ないようでしたら、質疑を終結し進行いたします。

次に、4款衛生費、ページ間違えないようにしてくださいね、48ページから51ページまで、質疑ありませんか。

6番。

○議員（6番 平井 満博君） 先ほどの質問ですけど、一から言うかいな、また。

○議長（牧田 武文君） 一から。

○議員（6番 平井 満博君） 議案説明のときに、不妊治療費助成事業ということで日本一の制度だと、三朝町が日本一だということですので、その内容についてお聞きします。先ほどの説明です。

○議長（牧田 武文君） 前田健康福祉課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 国の補助が15万、それから鳥取県が2万5,000円、合わせて17万5,000円がございます。それに現行三朝町は10万円というふうなことで、10万円を限度に助成をしているわけですが、その10万円の部分を20万円とし、この不妊治療につきましては1回当たりが非常に高額な治療費がかかります。そのあたりの経済的負担を少しでも軽くできないかというふうなことで、増額をお願いしたものでございます。

○議長（牧田 武文君） 6番。

○議員（6番 平井 満博君） 趣旨はよくわかります。それで対象者は何名を基準にされとるのか。

○議長（牧田 武文君） 前田課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 予算上は2名の方でございます。

過去の例でございますが、この不妊治療の助成をお使いになった方、ゼロ人の年もありましたが、1人あるいは2人というふうな実績がございます。

○議長（牧田 武文君） 6番。

○議員（6番 平井 満博君） いいです。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

9番。

○議員（９番 知久馬二三子君） 何かちょっと攻撃するような形になって済みませんけども、４９ページです、申しわけないです。済みません、笑ったらいけんですね。４９ページです。予防費の関係で子宮頸がん等のワクチンのあれが出ていますけれども、何人ぐらいを対象にしておられるんでしょうか。

それから、２３年度等はどのくらいの人が受けなかったか教えてください。わかりませんか。子宮頸がんのワクチンですけども……（発言する者あり）それはいいです。何人ぐらいを対象にしておられるんでしょうか。人数。

それと、あわせて高齢者の分ですね、肺炎の菌のワクチンのことについての。

○議長（牧田 武文君） 前田健康福祉課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 子宮頸がんワクチンの接種でございます。これにつきましては、対象を平成２３年度までは中１から高２の女子というふうなことで、既にこれは１回お受けになれば対象から外れるというものでございます。

２４年度につきましては、同じく中１から高１、それから高１段階、今年度お受けになった高２の方７名というふうなことで接種を見込んでおります。実績は、７割程度の方が受けていらっしゃいます。

それともう１点、肺炎球菌ワクチン、高齢者でございますね、これにつきましては７５歳以上の高齢者の方の１，５００人程度いらっしゃいますが、その方の２０％の接種率を見込んでおります。

○議長（牧田 武文君） ９番。

○議員（９番 知久馬二三子君） もういいです。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、６款農林水産業費、５２ページから５８ページまで、質疑ありませんか。

５番。

○議員（５番 遠藤勝太郎君） ５５ページの上から２段目の地域民芸品等保存伝習施設一般管理経費が上がっておりますが、今回教育部局から町長部局に変わったということの流れにおいて、今までは２００万円以内で抑えとって去年は１９０万だったわけですけども、増額されとるとするのは教育委員会部局でその美術館を運営するというのその利用度を増すというか、入館者を増すという格好での予算設定だとそういうふうに思うわけですけども、今見ますと、例えば

緊急雇用で美術館意識調査集計業務とか、それから関連し合っておりますけどまんが活用推進事業というような事業が上がっております。その中において、人件費というのが美術館意識調査集計業務に緊急雇用で1人雇うということでありまして、通常の業務に対する職員の人件費というのはどこに上がるとるのでしょうか。

○議長（牧田 武文君） 遠藤教育総務課長。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 所管が変わったらいけんでないかいな。こっちに言わせな。変わるだら、だって。だから教育……。

これ3回に数えんでくれよ。

○議長（牧田 武文君） うん。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 今、もう委員会構成において所管が変わるということで、総務教育から産業民生に移って審査されとるわけですから、既に町長部局の扱いという考えでないですか。

○議長（牧田 武文君） それは一応話し合いはできておりますけれども、ちゃんとしたものはこれから、後で変更で説明があると思いますので、とりあえず遠藤課長の方から答弁ができればよろしくをお願いします。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） お尋ねの通常の職員の人件費でございますが、72ページ、文化費職員人件費の中に計上がされておるものと認識いたしております。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 今、例えば同じ部局内での人件費の流用とか知りませんが、何か知りませんがこれおかしいと思うですわ、やっぱり。美術館は美術館としてどれだけ人件費が要するというのも明記してもらわないけんと思うし、もう一つ言いたいことは、この200万というのをさっき聞いたけど、言いならんだけど、200万多分日本海新聞がされる貸し館などの補助金じゃないかというふうに受け取ったけど、違うでしょうか。

○議長（牧田 武文君） 松浦企画観光課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） やなせたかし世界展の実施の補助金が210万円でございます。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） さっきこうやって緊急雇用をされて、その入館者を呼ぶためにいろんなことを調査されるという話だろうと思うだけけれども、これとは別に美術館で人を使われると思うんですけども、今言われた教育総務課長のは教育委員会部局にあつての話であつて、今度所

管が企画観光になったけど、どこから人件費を出されるかというのをお聞きしたいわけですよ。
職員使われんならいいですよ、この緊急雇用だけで1人というなら、使われるでしょう。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） 失礼します。

人件費のあり方ですが、先ほど教育総務課長が申しましたように現在の予算の中では教育総務の方に組ませていただいておりますので、それをもとに予算組みは現在のところはしてある状況になります。

○議長（牧田 武文君） ほかにございませんか。

10番。

○議員（10番 山田 道治君） 53ページの三朝町農業再生協議会補助金がありますけど、これ何に使われるのか伺いたいと思います。

それから、57ページの竹林整備、単価が下がるのはわかりますけども、0.85ポイントを掛けられるこの数字の意味がわからないので、その説明をお願いしたい。

○議長（牧田 武文君） 早苗農林課長。

○農林課長（早苗 睦巳君） 1点目の農地再生協議会の使途ですけれども、それにつきましては集落に転作等の確認をお願いしますので、その文書配布、回収に係る手当、それから農業共済組合等に電算処理をお願いしておりますので、それに係る電算処理委託料、あとは事務消耗品ということでございます。

それと竹林整備の0.85ですけれども、これは県の方が指導してきまして、昨年からですけれども85%の補助ということで、県の指導に基づいて算定しておるものでございます。以上です。

○議長（牧田 武文君） 10番。

○議員（10番 山田 道治君） その協議会の構成メンバー、町、JA、県というような方がたくさんおられるのに、ちょっと数字が大き過ぎるかなと思ったりはしていますけど、いいです。

それから、0.85の残りの0.15の部分は町単独で見られるというやな考えはありませんか。予算で計上してあるんですけども、考え方として1に近づけるといえるのはどうでしょうか。

○議長（牧田 武文君） 早苗農林課長。

○農林課長（早苗 睦巳君） この事業につきましては、県の森林環境保全税をもとにした事業でございます。それをもとにして、ヒアリング等も県の方が行っての負担割合となっておりますので、現在のところそれを町の方で上乘せするという事は今のところは考えておりません。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

ほかに。

5 番。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） 57 ページ、補正とも関連しますけどちょっと確認をさせていただきます。

竹林整備地域活動支援補助金、去年3ヘクタール見込まれて742万5,000円。それで今、県から補助金が381万円あるわけですね。それで去年はその補助金を下回った実績だというふうに認識をしとるわけですが、これどういう理由でこれだけ減額されたのか。減額というか減ったのかちゅうことと、なぜその金額を補助金だけの金額で抑えたのかちゅうのをちょっと説明をお願いします。

○議長（牧田 武文君） 早苗農林課長。

○農林課長（早苗 睦巳君） 平成23年度分につきましては、県の配分が確定した部分がございます、その額が減っておりますので、平成23年度の実績といたしましては約2ヘクタールの整備率にはなっております。基本的にこれも県の事業をもとにしておりますので、県の配分が減れば町の補助率も減っていくということになります。それで、今年度についても同等のことを見込んで減額ということになります。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） ちょっと言われることが違うと思うけど。

○議長（牧田 武文君） 答弁が。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） うん。ちょっとええか、言っても。

○議長（牧田 武文君） いいですよ。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） これ数に数えんで。

○議長（牧田 武文君） はい。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） 一応、ことしの3月補正を見ると、当初予算が742万5,000円組んであったんですよね。違いますかいね。それで要するに、使われた金額は減額補正されて499万1,000円減になっとるわけですね。それで使われたのは実質には243万4,000円という数字になると思うけど、これ違いますかいな。ちょっとこれ数でないなら。数えてない。

○議長（牧田 武文君） 早苗農林課長。

○農林課長（早苗 睦巳君） 補正で当初742万5,000円ということで上げておりました。それで約499万1,000円の減額ということで、実質243万4,000円の事業費という

ことでございます。これにつきましては、先ほどもありましたけども県の方が昨年と今年度と単価設定を変えてきたということがございまして、昨年よりも配分額の単価が落ちてきたということがございます。それに基づいて整備率も減りましたので、そこについて減額させていただいておるものでございます。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 要するに私が聞いとるのは、去年の県の補助金は381万円、ことしの予算書に上がったのも381万円。同じように、県から来る金しか計上されてないですね、ことしも去年も同じ金額。下がった下がったって、どがに下がったですか。県から来る金は一緒じゃないですか。だからこの金で去年と同様、3ヘクタールを見込むちゅうことですか。

○議長（牧田 武文君） 早苗課長。

○農林課長（早苗 睦巳君） 昨年度要求しました742万5,000円というのが大きかったということにはなります。今年度につきましても同様の整備を考えておりますので、よろしく願います。

○議長（牧田 武文君） もう一回。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 答弁がおかしいことないか、言うとの意味が。議長、去年とことしの金額変わっとらんじゃないですか。これ答弁おかしくないかと言っとるだで。予算下がった下がったと言っとるけど、どういう意味だいな、わけがわからん。

○議長（牧田 武文君） 早苗課長。

○農林課長（早苗 睦巳君） 整備の補助率の単価が減額になりましたので、その関係で補助金の額が減っているということでございます。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 補助金はだけん一緒だって、県の補助金、去年とことしと、見てみないな。県から入ってくる金、ことしの金と一緒に去年も一緒。これを去年は700万ぐらいしてとって、ことしは381万つけたのは何でかと聞いとるのに、あなたは違った違ったって、一緒の補助金だがな。どがに違うかいな。

○議長（牧田 武文君） 遠藤議員……。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 言っとることが違っとるかえ。県から来る金と同じ金額だに、下がった下がったって言う。

○議長（牧田 武文君） 遠藤議員、もう1問残っておりますので、後で説明させますので、次へ進めて。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） もう1問。

○議長（牧田 武文君） この件については、休憩後にさせます。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） それで今、要するに去年の県の補助金を満たさんだけの予算執行した際、何が問題で利用されなかったのか。例えば受け手がなかったとか、過大に面積を評価して余計つけさせたとか、その辺のちょっと答弁をお願いします。

○議長（牧田 武文君） 早苗農林課長。

○農林課長（早苗 睦巳君） 済みません、結構整備させていただくところがあるかと思ひまして予算要求しておりました。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 同じ57ページでございますが、松くい虫防除事業費ちゅうのが1,433万8,000円、昨年と同額で設定をされております。同じように松くいも293万5,000円、3月の補正で減額されるわけですけどね、例えば23年度の実績を見て予算計上されりゃええでないですか。これ以上多分ふえるという可能性はないでしょう。

○議長（牧田 武文君） 早苗農林課長。

○農林課長（早苗 睦巳君） 今年度の補正の減額につきましては、入札をした結果、請け差が出ましたのでその分だけの減額となっておりますので、来年度入札して結果がわかりませんので、昨年同様の設計金額をもとにした金額を計上させていただいております。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 一応補正ですから、私が言いたいのは実際要った費用だけ上げといて、ふえたときの増額補正したらいいじゃないですか。得意のすりゃええじゃないですか。予定がつかんけえ、だって実際に23年度これでできたんだから、この予算を上げるのが普通でないですか。去年つけたけど余ったけえ、また同じ予算つけるですか。

○議長（牧田 武文君） 早苗農林課長。

○農林課長（早苗 睦巳君） 発注する場合に県の積算をもとにして設計をする関係がございまして、設計をすると予算がないと今年度安かったからということで枠がないと起工ができませんので、そういう関係で設計額をもとに予算を計上させていただいております。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 何か重箱の隅つつくってというようなことになるけども、どんな予算もそうなんですか。足らんときの補正ちゅうのがあるでしょう、減額補正でも増額補正でも。ならみんなごっつい枠を突っ込んでいて、余ったら戻せばええという考えで全部事業を組むですか、全般に。そのために補正で増減されるでしょうが、うそかな。みんな予算というのは余計目

に組んどくんですか。それはちょっとおかしいでないかいな。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） ただいまの遠藤議員の予算の組み方についてというふうに伺いましたのでお答えさせていただきますが、基本的に予算というのはその枠をもって支出の予定を立てますので、工事発注でありますとかそれから業務の委託の場合にはあらかじめその予算の枠をもって執行する予定になります。ですから、起工とか起業するときにはあくまでも予算の裏づけがあって業務を発注するということになります。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） だけえ裏づけちゃうのは前年度の実績が裏づけと違うかいな。おれ座っとるけ、立っとらへんで。うそかいな。これが答弁になっとらんけん聞いとるだが、この……。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） あくまでも設計するときの発注は入札減で落ちるかもしれないけれどもその入札の額どおりになる場合がありますので、その額で発注になる場合もあります。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 意味がわかっとらんな、全然。そがなんじゃいけんわいな、答弁であらへんがな。実績があつとるだけえ、一番肝心なのは実績。それ以内で入札させらいいがな、設定金額を安くして。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） 済みません、説明不足だったかもしれませんが、例えば松くい防除の予算が1,000万ということで組み立てるのは、あくまでも県の単価をもとに1,000万という事業で組み立てます。それが平成23年度のときは入札してみたら800万で落ちたから、200万を減額するというような補正予算を組まさせていただいているわけなんですけれども、当初予算の段階ではあくまでも設計が基準の予算の積算になりますので、予算はあくまでも設計のもとの金額という部分でさせていただくようになっております。

○議長（牧田 武文君） ほかにございませんか。

2番。

○議員（2番 藤井 克孝君） 53ページの中ほどのグリーンサービスの運営補助金、この金額ちゅうのはもうずっとこの計上で大体その予算等を組んでいかれるのか、ちょっとお聞きいたします。

○議長（牧田 武文君） 早苗農林課長。

○農林課長（早苗 睦巳君） グリーンサービスの運営補助金の500万ですけれども、中山間の

交付金等もございますので、その枠も含めて全体枠で500万というふうな考え方をさせていただきたいというふうに思っております。

○議長（牧田 武文君） 2番。

○議員（2番 藤井 克孝君） 今言われた中山間地域等を別にした金額を含めての答弁を聞きたいのと、グリーンサービスの自立ちゅうことは全然検討はされてないのか。そこら辺も含めて、お聞きしたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 早苗課長。

○農林課長（早苗 睦巳君） グリーンサービスの設立当初の目的でございます優良農地の保全という部分がございます。そこについては町の方が切り離すというわけになりませんので、引き続き町は支援をしていきたいというふうに考えております。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

○議員（2番 藤井 克孝君） ちょっともう一回言ってえな、聞こえんに。

○議長（牧田 武文君） もう一回。

○農林課長（早苗 睦巳君） 済みません、グリーンサービスの当初の目的でございます優良農地の保全という部分がございますので、町としては引き続きグリーンサービスの方の支援をしていきたいというふうに考えております。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

○議員（2番 藤井 克孝君） その補助金をグリーンサービスに出す根拠ちゅうのは、いつまで続けられるのか。その自立ちゅうことは全然考えておられないのか、もう一度ちょっと再度確認します。

○議長（牧田 武文君） 早苗農林課長。

○農林課長（早苗 睦巳君） 補助金をいつまで出すか。グリーンサービスの設立当初ですけれども、JAと町が職員を出し合って運営していくということがございました。そのために、ただし町としては職員の派遣はできないということがございました関係で、職員の人件費相当分ということで補助金を出しているという経過がございますし、先ほども言いましたけれども、町の設立当初の目的を遂行するためにも、これから農地の荒廃を防ぐためにも町は支援を続けていきたいというふうに考えております。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） ほかにございませんか。

10番。

○議員（10番 山田 道治君） 今のグリーンのことですが、補正の方で聞こうかと思ったんです

けど、23年度は減額、150万ほど減ってますよね。あれとこれとのかかわりはないんですか。

○議長（牧田 武文君） 早苗農林課長。

○農林課長（早苗 睦巳君） その約150万円の減額につきましては、中山間の支払い部分を引いた部分でございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですね。

ほかに。

〔質疑なし〕

○議長（牧田 武文君） 質問ないようでしたら、しばらく休憩いたします。再開を11時10分。

午前10時58分休憩

午前11時09分再開

○議長（牧田 武文君） 再開いたします。

先ほど、遠藤議員からの質問に対して早苗農林課長の方から答弁を求めます。

○農林課長（早苗 睦巳君） 昨年の742万5,000円の予算要求ですけれども、当初3ヘクタールを整備して、県の単価をもとにして計算しておりました。ところが、県が昨年設定単価を大幅に見直ししたというところと、それから交付率を変更したということがございまして、そのことそれから実績が1.7ヘクタールに減りました。その関係で、補正で減額をさせていただいております。

今年度につきましては、昨年単価設定が変わりましたのでその単価設定と、交付率も昨年と同じ交付率を使いまして、今年度は3ヘクタールの竹林整備を予定しておるといふ予算を計上させていただいております。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですね、遠藤議員。

次に、7款商工費、59ページから61ページまで、質疑ありませんか。

5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 60ページの下から5行目の、昨年度も聞きましたキュリー祭開催補助金200万円。去年と同額でございますが、これに対して精査されたかということも聞いたし、何か改革せないけんどうこうちゅうやなそれも聞いたような気がするんですけども、だんだんとキュリー祭も下火になっというか、そういう状況になるというふうに認識しとるわけですけども、この辺の予算設定の仕方についてちょっと聞きたいけど、担当課長から。

○議長（牧田 武文君） 松浦企画観光課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） キュリー祭の件でございますが、議員が言われましたようにキュリー祭のイベントの中身等々についていろいろと御意見をいただいております。

先般開催した実行委員会の中でも議論をしておるわけですが、開催日等の問題もありました。開催日についてはことし8月4日に戻していくという中で、イベントについても今三朝の中で若い人、青年部の人元気になってきております。今回の企画をする会のメンバーも、その青年部の方が代表となって頑張っておられますので、そういう若い人のアイデアを出していただいて、少しでもよくしていくようなそんな祭りにしたいというふうに取り組んでおるところでございます。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 要するに、活性化に向けて皆さん方の元気のためにということで、集客事業も兼ねてしとるというふうに思うわけですが、本気でやるならもっと予算つけたらとか、もしいけんなら切るとか何か考えられんと、いつも同じ金額。それでいつも参加される商店街の人でもメンバー決まると人しかせん。協力体制も悪いという話を聞いてるわけですが、いろんな人に。だからもっと町の職員も本気になって、町民を真ん中に入れてというかそういうのにして盛り上げんと、これだけ出いたけえしてもらえんという投げやりでなしにやっぱりお互いに努力するということをせんと、銭出ただけええわいということではいけんと思うけど、その辺どう思われますかいな。

○議長（牧田 武文君） 松浦課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） まず、人の関係でございますけど、役場の職員もほとんどすべての職員がそこに張りついておりますし、それから確かに三朝のこれまで中心的に昔から運営してこられました三朝の中の地域の人、少し高齢化をしたりしてスタッフが減っているというのも事実でございますが、そのことについてはやはり町内の方もスタッフとして参画をしていただくということで、ことしはそういう体制で臨みたいと思っております。

ただ、一気にそういうふうにはふえないとは思いますが、スタッフで出ていただく方、イベントの中で出ていただく方、そういう中でやっていきたいと思っております。

それで、補助金につきましては、今のところ町が出す補助額と3団体とかJAとか三朝区等々からいただく負担金が半分ずつというふうなスタイルでやってきておりますが、これから取り組む評価をいただいて、町の200万じゃ少ないからもっとやりたい、やれということであれば、勇気を持って来年度要求をしまいたいと思っております。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（５番 遠藤勝太郎君） 要するに参加者が減っとる。例えば、以前は各集落の女性会が参加したりとかいうことで、例えば旅館のバスが送迎したりなんかして大々的にやっておられたのが今だんだんと減ってきて、例えば事業所とかそういう人が主体になった、そういう人しかとらんやな現実を踏まえとるわけですな。それを何があったかちゅうような反省点もされんと、だんだんと参加者が減っとるといふふうに認識しとりますよ、多分。花火も銭がないけえちやちな花火が上がるとかいうような話も聞く中においていろいろ精査されて、だけん予算が足らな足らなりに増額したりしてやらんと、これはあってもなあても変わらんやなことではいけんと思うですよ、やっぱりするからには。

例えば、去年の場合は倉吉祭りと日にちが重なったために減ったというのは認識しておりますけども、それに負けちゃってるということですよ、そういうふうに減るといふことは。そっちに流れとるといふことですから。三朝のキュリー祭が魅力がないけえよそに行っちゃう。いかに客を集めるかという努力をされんと、この事業の意味がないといふふうに思いますけど。

○議長（牧田 武文君） 松浦課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） 地域の盛り上がりをつくるのが非常に難しいとは思っておりますけど、やはり参加する町の人が楽しくなかったら来られとるお客さんは当然楽しくない祭になります。それが基本でございますので、それをしっかり思って取り組んでいきたいと思ひますし、議員も非常に情熱を持って御教示をいただきましたので、いいアイデアがあればいただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

○議長（牧田 武文君） ほかにございせんか。

1番。

○議員（1番 清水 成真君） 先ほどのキュリー祭のことでございせんけども、開催日が変わったかどうか、何かそういうような話がありますが、ちょっとお聞きしたいと思ひます。

○議長（牧田 武文君） 松浦課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） これまで試行として8月3、4でありましたのを8月の土日に実施をしたりとか、そういう形でやってまいりました。それでいろんな検証する中で、倉吉の祭りと合わさってしまうことの課題もあつたり、それから7月の下旬から8月についてのいろんな行事の関係も見ながら、いろいろと実行委員会の中で検討していただきました。その中で、やはりキュリー祭としての8月の4日という歴史の長年の中での組み立てがいいんじゃないかと。そこに合わせて祭りをつくっていくべきではないかなといふふうな委員会としてのまとめをさせていただきました。

確かに委員会の中ではいろいろと議論もございまして、長い時間検討、話をしたわけですけど、そういう方向にまとまりましたので、このような形で8月4日ということで今後進めていきたいと思えます。以上です。

○議長（牧田 武文君） 1番。

○議員（1番 清水 成真君） 委員会の中ではいろんな議論があったということで、私も聞いております。ほとんどの意見が、8月4日ではなくて日曜日開催がいいというようなことも聞いておりますので、そのあたりはどうだったのでしょうか。

○議長（牧田 武文君） 松浦課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） その意見の中では、最初いろいろと日にちの設定でいろんな意見が出ました。それで出た中で、最終的にいろんな協議をする中で8月4日の実施ということにまとまったこととございます。意見はありましたけど、そういうふうにまとまったということが実行委員会の中での結果とございます。以上とございます。

○議長（牧田 武文君） 1番。

○議員（1番 清水 成真君） 今のは終わります。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

1番。

○議員（1番 清水 成真君） 同じく予算説明資料77ページであります。三朝温泉街公衆無線LAN整備事業補助金、本当にいい事業だと私は思っております。この事業の整備の総事業費は幾らで、どこに補助金を出して、そして旅館の方はすべての旅館が対象なのかどうかお聞きします。

○議長（牧田 武文君） 松浦企画観光課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） この事業の総事業費は約170万ほど見込んでおまして、これはちょっと県の補助を活用しようかということでちょっと補助の流れがややこしいんですけど、観光協会とかが事業主体になる場合に、県が2分の1の補助率で補助をしてくれる。その限度額が50万というふうになっております。

それで現在、全旅館を対象にしておりますが、基本的に旅館のロビーの中で無線LANが通じる環境を整備をしたいというふうな、そこまで持ち上げたいというふうに思ひまして、その中で既に独自で実施されておる旅館がございまして。そこは外させていただきます、大体17旅館を見込んでおります。大体、場所によっても若干違うようなんですけど、1カ所当たり10万円ぐらいで済むということなので、そこで旅館さんの負担が3万ぐらいということの中での事業費の組

み立て方をしておるところです。以上です。

○議長（牧田 武文君） 1 番。

○議員（1 番 清水 成眞君） できれば各旅館のロビーだけでなく、部屋の方の整備もできればいいのかなと思っておりますので、今後検討もしていただきたいと思います。以上です。

○議長（牧田 武文君） 答弁いいですね。

7 番。

○議員（7 番 松村 修君） 1 つ聞きたいんですが、観光協会の経常経費補助金の中の人件費は幾らなのか。そして、人件費総額の何割補助されておるのか、何名分に当たるもんか、ちょっとお聞きしたい。

○議長（牧田 武文君） 松浦企画観光課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） 観光協会の経常経費の中で、人件費は3,782万8,443円になります。それで、これにつきましては人件費の9割補助をしております。人数につきましては10名でございます。以上でございます。

○議員（7 番 松村 修君） ええです。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

10 番。

○議員（10番 山田 道治君） 59ページの商工総務費の中には緊急雇用創出事業がかなり盛り込まれてますけども、見れば農林課とか建設とか教育関係とか、ここの部分はそれぞれの課の方に分類された方がいいんじゃないかと思えますけど、ここに上げられている何か理由があるんですか。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） 商工費の中に上げておるといことなんですが、これ緊急雇用の基金を財源としてすべてまとめて実施するという観点から、事業の振り分けとしては雇用ということで、商工費の中に位置づけさせていただいているものでございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

ほかに。

2 番。

○議員（2 番 藤井 克孝君） 59ページの三朝町耕作放棄地の再生支援事業の80万が計上されてますけど、今年度の大体その計画等がわかりましたらお願いいたします。

○議長（牧田 武文君） 早苗農林課長。

○農林課長（早苗 睦巳君） 今年度の予定といたしまして、1ヘクタールをこの事業を活用して再生して、新しい引き受け手に渡したいというふうに考えております。

具体的な場所については、これから検討するというところでございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

2番。

○議員（2番 藤井 克孝君） 今、答弁では1ヘクタールで、それでその目標でされてるんですけど、今までこの耕作放棄地、グリーンサービス等が大体受けてされてますよね。それでその状況を見てると、グリーンサービスが仕事のあいた間を見てされてるみたいにその状況、自分は考えてるんですけど、これだけ三朝町内で田畑が荒れてる中、やっぱりもうちょっと予算計上されて計画を練って実行された方がいいんじゃないかなとは思いますが、その辺について。

○議長（牧田 武文君） 早苗農林課長。

○農林課長（早苗 睦巳君） 議員御指摘のとおり、町内には耕作放棄されとる土地があります。それにつきましては、農業委員会とも協議しながらありますけども、引き受け手の問題もございまして、その辺は協議しながら順次計画的に進めていきたいと思っております。

事業につきましては、この緊急雇用に限らず考えていきたいというふうには考えております。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、8款土木費、61ページから65ページまで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、9款消防費、65ページから67ページまで、質疑ありませんか。

3番。

○議員（3番 吉田 文夫君） 私は、説明書の方の35番になりますが、消防団員の報償金、退団ですね、この報償金が450万支払われてますよね。去年も同じ額なんですけど、ことしも同じ額が予定されているんですけど、一体何人に支払われているのか。去年と同じ人数なのか、その点をちょっと聞きたいです。

○議長（牧田 武文君） 松原総務課参事。

○総務課危機管理担当参事（松原 照宗君） 失礼します。

消防団退職報償金につきましては、22年度につきましては11名の支払いをいたしております。309万2,000円という形で支払いをいたしております。

退職報償金につきましては、年度によって上下、退職者によって変わってきておりますので、そういった形で600万のときもありますし、非常に少ない100万のときもあります。それで大体450万ぐらいを、今年度は改選期ということもありまして、それで450万という金額をずっと設定をさせていただいておるところでございます。大体の見込みという形で立てさせていただいております。

○議員（3番 吉田 文夫君） ちょっと意味がわからんので、もう一遍。

○総務課危機管理担当参事（松原 照宗君） 済みません。

○議員（3番 吉田 文夫君） いよいよわからんようになったように思いますので、もう一遍回答を。ちょっとわかりにくいですが、内容が。

○総務課危機管理担当参事（松原 照宗君） これは年によって非常に変わってきますので450万という枠を確保しております、交付金で出てくるものでございますので、そういった枠を確保させていただいておることとあります。

○議長（牧田 武文君） 3番。

○議員（3番 吉田 文夫君） 枠を確保しとるといわけですか。そしたら、来年度例えば450万枠してるけれども、何人退職するかはわからんということやね、これは。決定してないということですね、そういうことは。予測が立たないということやね、やめることに対しては。

それと、やっぱり60歳までで定年となってるんですか、この消防団員というのは。それが途中でやめる人がおるのか。その点はどんな、内容的には。

○議長（牧田 武文君） 松原参事。

○総務課危機管理担当参事（松原 照宗君） 定年はございません。

それと、やめられる人数は把握できておりません。その年その年によって変わってきます。

○議長（牧田 武文君） 3番。もう一遍です。

○議員（3番 吉田 文夫君） それで去年退職した方々の報償金は払われているんですが、新しい団員は入られましたか。（発言する者あり）

わかりました、いいです。

○議長（牧田 武文君） じゃいいですか、吉田議員。

○議員（3番 吉田 文夫君） 次あります、もう一回あります。違う問題です。

○議長（牧田 武文君） 3 番。

○議員（3 番 吉田 文夫君） 説明資料の方は 3 6 ページになりますが、この消防団員の掛金が掛けられていますよね。ここでの 6 7 9 万 7, 0 0 0 円が掛けられておりますが、ここで課長、新しい入団員がありましたか。ここでは聞けるはずですよ。（「予算だ」と呼ぶ者あり）予算でしょ、予算だけど団員が入ったか入らんかは聞けるでしょ。掛金が入ってるんですから。（「4 月からの入団なんだけえ、今はわからんわい」と呼ぶ者あり）今はわからない。去年は入ったことはわからないですか、新しい入団員は。でないと、この掛金というのが出てこない。同じ掛金なんだから、減ってるんだったら掛金が減ってるはずですよ。去年と一緒じゃないですか、掛金が。

○議長（牧田 武文君） 今質問されとるのは、去年の入団員が何名おられたかということですよ。

○議員（3 番 吉田 文夫君） でないと、掛金がこれ変わらないかん。

○議長（牧田 武文君） 松原参事。

○総務課危機管理担当参事（松原 照宗君） 退職消防団報償金掛金につきましては、条例定数で掛けております。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

6 番。

○議員（6 番 平井 満博君） 今、関連で報償金の部分ですけども、報償金と消防団共済金、これは先ほど課長が答えられた条例に定まった人数ということでございますけども、条例で定まった人数というのは何名で現状が何名なのか、ちょっとそこを教えてください。

○議長（牧田 武文君） 松原参事。

○総務課危機管理担当参事（松原 照宗君） 失礼します。

条例定数 3 5 4 人、現在 3 3 7 人の消防団員がおります。

○議長（牧田 武文君） 6 番。

○議員（6 番 平井 満博君） 退職消防団報償金掛金と、それから消防団福祉共済金、これいずれも条例定数で掛けてあるんですか。

○議長（牧田 武文君） 松原参事。

○総務課危機管理担当参事（松原 照宗君） 福祉共済につきましては、現状の人数で掛けております。退職消防団報償金掛金につきましては、条例定数で掛けております。

○議長（牧田 武文君） 6 番。

○議員（6 番 平井 満博君） 先ほど現団員が 3 3 7 という数字ですけども、基本的には認識の中で以前もちょっと消防団の一般質問をしたときに、幽霊団員というか本当に実質動いてない

団員という部分もあるということを確認しておりますので、ただ登録だけの団員ではなくやっぱり現状をしっかりと把握して、条例定数も基本的にはやっぱり見直すような考え方の中で、ここである程度の人数、その条例に決まった数の掛金だけを払わないけん。現状とは違う部分が出てきますので、やっぱりきちんと条例の定数も検討されるべきだと私は思いますけども。

○議長（牧田 武文君） 松原参事。

○総務課危機管理担当参事（松原 照宗君） 消防団員の数につきましては、今、ちょうど改選期でございます。それにあわせて団員数をふやすような努力を今しておるところでございますし、そういった意味で定数を満たすような努力をしていくということでございます。よろしくお願いたします。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

11番。

○議員（11番 杉原 憲靖君） 66ページの消防施設整備費170万が予算上がっておりますが、最近、消火器具の盗難の事件がありましたですね。その実態をまず最初にお聞きします。

○議長（牧田 武文君） 松原参事。

○総務課危機管理担当参事（松原 照宗君） 管鎗が盗まれたということでありました。それでとられたのが牧、助谷、湯谷でございました。全部で7本ということございました。それにつきましては、集落補助の形で補助を出させていただいております。既に購入していただいております。以上です。

○議長（牧田 武文君） 11番。

○議員（11番 杉原 憲靖君） この盗難事件というのは、消火器具のみならず農機具等のあれが近年盗難に遭うというそういった状況が続いておるわけですが、そういう意味からいうと危機管理が非常にぬるまっているというか、盗む人から見れば盗みやすい地域、町というような、そういうイメージが仮にあるとすれば、危機管理全体の意識として町全体がそういうあれに目を光らせていくという、そういうことの考えをしっかりと持たないけないというそんな思いもするんですが、特にこの消火器具の盗難というのは、各消火栓近くに格納庫がありますね。これ等の設置場所というか、そういう一つの工夫なり研究なり、非常にもう場所によっては盗みやすいようなそういったところに格納箱が設置をされているというような状況下もあると思うんですが、そういう一つの工夫もあわせて検討する必要があるんじゃないかと思いますが、それについてはどうですか。

○議長（牧田 武文君） 松原参事。

○総務課危機管理担当参事（松原 照宗君） 消火栓ボックスの設置場所のことについてだというふうに思います。

消火栓ボックスは、道路に面した扱いやすい、火事起きたときにそういったホースだとか管鎗だとか取り出しやすい場所、それから消火栓の設置場所に置いておりますので、なかなか移動させて別の場所に隠れるということにはなりません。それからかぎをかけることもできませんので、非常に対応に苦慮しておるところでございます。そういった意味で、地域の方々に不審な車が来たときには見ていただくというような、そういった取り組みが必要ではないかなというふうに思っております。以上です。

○議長（牧田 武文君） 11番。杉原議員。

○議員（11番 杉原 憲靖君） 今ちょっと答弁もらいましたが、必ずしも消火栓の近くになけないといけないという、そういった定義のあれがどうなのかなという部分があると思いますが、例えば消火栓の近くの民家の方をお願いできるようなそういうことのあれができれば、消火栓の近くにあってすぐ対応のできないというよりも、むしろお願いできるような民家のそういう承諾がとればそういう一つの工夫のあり方もあるのではないかなという、そんな感じもするわけですけども、この盗難のこのあれについて、この犯人というか、それは特定できておるんですか。

○議長（牧田 武文君） 松原参事。

○総務課危機管理担当参事（松原 照宗君） 警察には被害届を出していただいておりますが、犯人等はまだ不明でございます。

○議長（牧田 武文君） ほかにございませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） ないようでしたら、質疑を終結し進行いたします。

次に、10款教育費、67ページから77ページまで、質疑ありませんか。

3番。

○議員（3番 吉田 文夫君） 教育費で70ページの一番上の欄ですが、説明では189ページになります。この中学校費の運営費で、パソコンの保守点検と、それと学校医の報酬費というのが816万8,000円予算つけられておりますが、この内訳としては、このパソコンの保守費というのは昨年もことしも同じ額が出てるんですが、学校医というのはどういうお医者さんが中学校に入って診察をなされているのか。内科なのか、あるいは歯科医の先生が入っているのか。それらへの報酬に対して、どういう支払いをされているのか。

そして、1カ月に何回なのか、あるいは1年間を通じての報酬を支払いなされておるのか。

また、大体普通の一般の医者へ行くと人数で診察料取られるんですが、この人数での支払いをされているのか。その点をお聞きしたい。

○議長（牧田 武文君） 遠藤教育総務課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 説明資料は180ページの中学校運営一般経費だろうと思いますが、この中で学校医の報酬でございますが、歯科医、内科医それから薬剤師の方に校医になっていただいております、それぞれ計算の部分がございまして、おおむね一律経費プラス1人当たりの児童数、これの積算を加えたものをそれぞれ支払っております。詳細が要るということであれば、後ほどお答えさせていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

○議長（牧田 武文君） 3番。

○議員（3番 吉田 文夫君） 今言われた説明はわからんでもないんですが、去年は人口数は中学校の人数が154人と、ことしは165人にふえたという。44人の卒業がありましたのでその分が上がってるんだろうけども、単純に計算してみたんですが、1人当たりが大体幾らになるか、単価ですね。医療費1,010円とか普通やったらあるんだけど、学校の場合は、児童の場合はその単価というのか、一人頭のそれははっきりはわかりませんか、その点は。

○議長（牧田 武文君） 遠藤教育総務課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 内科医でしたら、児童1人について110円という積算根拠になっておりますので、ちょっとほかの部分のが要るということであればまた後ほど提案いたしますけれども、児童数を見込んで、プラス1年間の定額、ちょっとそれも後ほど答えますが、10万1,000円だったと思っておりますが、また後ほど答えさせてください。10万1,000円プラス110円に園児数を掛けた額をいわゆる健診という形で支払うものでございます。病気になってというものではないということは御理解いただきたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 3番。

○議員（3番 吉田 文夫君） これが最後になりますが、その点をまた詳しくわかれば教えてください。

○議長（牧田 武文君） 3番、吉田議員、昼からのかかりにこれはまた答弁していただきますので。

ほかに。

6番。

○議員（6番 平井 満博君） 72ページの上から4行目の三朝町青年団活動補助金、以前議会としても未来町づくり調査特別委員会ということの中で、青年団さんといろんな議論というか活

動とかそういう意見を聞いた上で、ここに予算がのっとるのが3万6,000円ということですけども、この3万6,000円の根拠という部分をちょっとお願いします。

○議長（牧田 武文君） 山根生涯学習課長。

○生涯学習課長（山根 智美君） 青年団活動補助金の3万6,000円の根拠ということでございます。

県、郡の連合青年団、上部団体の負担金部分を補助するというので、その金額でございます。以上です。

○議長（牧田 武文君） 6番。

○議員（6番 平井 満博君） 先ほども言ったですけども、結構今の青年団組織というか青年団の人たちは活動していますよね、婚活とかキュリー祭とかいろんなイベント参加とか。そういう中で、3万6,000円でそれだけの活動ができますか。そこをちょっと私疑問に思うんですけども、もっと活動費を上げてもいいんじゃないかなということですけども、その部分について、なぜ活動費がないのかということをお聞きします。

○議長（牧田 武文君） 山根生涯学習課長。

○生涯学習課長（山根 智美君） 青年団活動費をもっと補助してはというようなぐあいに取り取りましたが、先ほど議員からもありましたように最近団員数もふえておりまして、活発に活動しておられます。補助金申請が出ましたので、その事業と内容を考えたところでいろんな活用できる県の補助金等がございまして、そちらの方も受けるように準備しておられますし、町の補助金もあるというようなことで、自立された活動をされているところでございまして、生涯学習課としては将来を担う若者のリーダーの集まりということで、支援は続けていきたいと思っておりますので、とりあえずことしにつきましては上部団体の負担金の部分を補助しておるところでございます。

○議長（牧田 武文君） 6番。

○議員（6番 平井 満博君） 聞くところによると、予算要求は出いたと。活動費以外、県とかそういう町のある程度の資金の部分の補助金申請の部分についても大卒の予算の部分は出しましたけども、何だかその活動費というか、やっぱりもうちょっと自由に、今、課長の方もおっしゃられた、やっぱりもっとこういう若い人たちが活力を出すためには活動費という部分をもうちょっと見てあげるべきではないかなという思いです。だけえその予算要求の部分で非常に切られた部分の不満もあると思いますので、補正でも組んで何とか支援をとということを私は思っております。町長、そのことについて。（発言する者あり）いけんか、教育長か。教育長、答弁をお願いします。

します。

○議長（牧田 武文君） 山口教育長。

○教育長（山口 博君） 今の御質問に答えます。

確かにいろいろ青年団の方では活動を考えておられるようですが、本年度の予算につきましては婚活などを大きい事業で入っておりました。その婚活などは、外部のいろいろそういうふうな補助がもらえるというのがあるんで、そういうふうなものに手を挙げてもらってとってきていただくということで、今回その基本的な部分だけの予算の上部団体への加入金等をこの町費で負担しようというふうなことにしたわけです。

今おっしゃいましたように、青年団活動を応援すべしという思い、非常にありがたいと思いますので、今後考えていきたいと思います。ありがとうございます。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

9 番。

○議員（9 番 知久馬二三子君） 76 ページの学校給食費の関係なんですけれども、アレルギーの子供たちもおると思いますね。それ何人ぐらいおって、どのような対応をされているのかをお聞きしたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 遠藤教育総務課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 申しわけございません、また後ほどお答えさせていただきます。

○議長（牧田 武文君） この件につきましても、昼からお願いします。昼からかかりに説明させていただきますので。

ほかに。

4 番。

○議員（4 番 福田 茂樹君） 68 ページ、教育委員会外部評価事業、説明資料では第三者から教育委員会へ計画実施評価、改善の指導。この第三者はどなたが選ばれるのか、どんな方を選ばれるのか。

この方の評価を得て、教育委員会はこの指導に沿っていかれるのかということをお聞きしたい。

○議長（牧田 武文君） 遠藤教育総務課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 3 名の方に外部評価委員になっていただいております。だれが選ばれるかということは、教育委員会で選んでおります。3 名でございます、法令に基づく評価事業でございますので、日本全国の教育委員会で取り組まれるものだろうと思っておりますけれども、その中で出てきたものにつきましては教育委員会で精査し、そして改善すべき点は改善

していくというような経過になろうかと思っております。よろしくお願いいたします。

○議長（牧田 武文君） 4 番。

○議員（4 番 福田 茂樹君） 教育委員会の評価を得るのに、教育委員会が人選した人というのは少しおかしいんじゃないですか。

○議長（牧田 武文君） 遠藤課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 評価事業の要綱をつくりまして、その中から学識経験者等々 3 名の方、地域代表、そういうことに要綱として決めておりまして、それに準じて教育委員会が決めたということでございます。御理解をいただきたいと思えます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

ほかに。

4 番。

○議員（4 番 福田 茂樹君） 文言がわからないのでお聞きをしたいと思います。

学力向上調査、説明書ではハイパー Q U だか何だかって書いてある。実際どんな調査なんですか、これは。6 8 ページ。

○議長（牧田 武文君） 遠藤教育総務課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） ハイパー Q U 調査というものは、子供たちの学校での友達関係であるとか、いわゆる環境に対してのアンケート調査を行うことにいたしておりまして、快適な人間関係の部分というのを見ながら、豊かな環境の中で学力が伸びるという認識のもとで、そういう子供たちを取り囲む環境を調査するものでございます。アンケート調査でございます。

○議長（牧田 武文君） 4 番。

○議員（4 番 福田 茂樹君） 実施するところはどこが実施するわけですか、その調査を実施するところは。アンケートをとる。

○議長（牧田 武文君） 遠藤教育総務課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 確かなことは昼からにお願いいたします。

○議長（牧田 武文君） ちょっともう一遍答弁をお願いします。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 昼から、また後刻回答させていただきたいと思えます。

○議長（牧田 武文君） じゃ午後よろしくお願いいたします。

しばらく休憩いたします。再開を午後 1 時といたしたいと思います。よろしくお願いいたします。

午前 11 時 54 分休憩

午後 1時00分再開

○議長（牧田 武文君） そういたしますと、再開いたしたいと思います。

最初に、吉田議員の質問に対して、遠藤教育総務課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） まず、吉田議員からの校医の報酬でございますが、内科医につきましては基礎額が10万1,000円、人数割で一人110円となっておりますので、これを児童数を掛けて加えていくということでございます。歯科医につきましては10万円ちょうど、人数割が110円。それから、眼科医につきましては基礎額はなくて、人数割で210円。耳鼻科につきましては、一人285円。薬剤師につきましては、基礎額6万3,300円。このようになっています。

それと、福田議員からお尋ねのアレルギーの件でございますが……。

○議長（牧田 武文君） ちょっと待って、一つわて聞いていくけん。

吉田議員、よろしいでしょうか。

○議員（3番 吉田 文夫君） いいです。ありがとうございました。

○議長（牧田 武文君） 次に、そういたしますと知久馬議員からの質問でアレルギーの。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 失礼いたしました。アレルギーの児童数、お尋ねでございます。4校合わせまして、12名現在おります。それで新年度に新たに2人、ちょっとアナフィラキシーというアレルギー症状の重たい児童が入ってまいります。合わせて14名となります。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいでしょうか、知久馬議員。

○議員（9番 知久馬二三子君） 対応の仕方がどういうふうにしてあるかということですが、予算の中での。

○議長（牧田 武文君） 遠藤課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 予算では、新たに3時間のアレルギー専門職員を今募集中でございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですね。

○議員（9番 知久馬二三子君） はい。

○議長（牧田 武文君） そういたしますと、次に福田議員の質問。2点ありますので、続けて。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） ハイパーQ Uの件でございますが、全校児童のアンケート調査した結果を業者委託で集計することといたしております。

○議長（牧田 武文君） もう1点あるな。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） ちょっと1点だと認識しておりまして、申しわけございません。

○議員（4番 福田 茂樹君） 委員の3人はそれでいいのかという話。答弁になってないという。教育委員会をチェックする外部がそれでいいのかという。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 3人の外部評価委員ということで、いわゆる学識経験者として大学の教授という部分で山田修平先生、そして地域代表ということで、それでいいかと言われたら検討はいたしますが、地域代表といたしまして教育委員会がこちらにお願いしたいという部分の依頼をしたところございまして、3人という少数でございますので、こちらなら期待にこたえていただけるだろうというふうな判断のもとで選んでおりますので、そこは御理解をいただきたいということでございます。よろしく申し上げます。

○議長（牧田 武文君） もう1点、学力調査。いいですか、それで。

福田議員、4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） やはり教育委員会をチェックする方々ですから、ほかの方に選んでいただくのが私は適切だというふうに思っております。そういうふうに検討していただきたい。

さらにそのハイパーQ U、環境等、人間関係等を調べるというふうな説明だったですね。それがなぜ学力につながっていくのかがちょっとよくわからん中で、外部にその調査結果を求めていくんですね、子供たちのアンケートをとって。それがどういうふうに評価されて出てくるのかというのが私の中で認識できないんですけども。

○議長（牧田 武文君） 遠藤課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 業者委託で返ってくるわけですが、学力を向上させるということにつきましては、やっぱり学校の環境がその子にとって適切な環境になれば学力は伸びていかない。そういう状況の中で、このようなハイパーQ Uの事業が取り組まれているということで、よろしくお願いたしたいと思いますが。

○議長（牧田 武文君） これで3問になりますので、済みません。

教育費について、皆さんの方で御質問がございましたら。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） では、質疑を終結し進行いたします。

次に、11款災害復旧費から14款予備費まで、77ページから79ページまで、質疑ありませんか。

2番。

○議員（2番 藤井 克孝君） 77ページの中ほどの農地災害復旧補助事業について、301万9,000円という予算がついとる中、3カ所の補助事業で行われるんですけど、これと去年は台風12号等含まれて農地の被害等が出とる中、その補助事業に当てはまる農地の災害が13万円ぐらいかかる費用でなくちゃその災害事業には充てれないというあれを聞いてるんですけど、その13万円ぐらいかかる事業、農地の災害が13万円ぐらいでなくちゃできないちゅうその根拠をちょっとお聞きしたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 岩山建設水道課長。

○建設水道課長（岩山 靖尚君） 災害復旧の御質問にお答えいたします。

農地等の災害復旧事業につきましては40万以上ということで、全体の事業費といいますか、復旧費の中で40万以上が一応国庫の対象となる災害復旧事業費ということになっております。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

2番。

○議員（2番 藤井 克孝君） なぜこれをお聞きしたかといいますと、去年は台風災害等が出た中で、農地、その谷側に面した農地なんかは谷からの土砂流が流れ込んで、人力でできない分に対してはなぜその補助事業を取り入れなかったかちゅうことをちょっとお聞きしたい。だから人力でできない農地なんかは機械とか導入して農地にしていかななくちゃいけないちゅうことは、その面に関して人力ではできないのに、なぜその予算をつけられなかったのか、ちょっと。

○議長（牧田 武文君） 岩山課長。

○建設水道課長（岩山 靖尚君） 本年度の23年度の台風12号等によります災害復旧の件ですが、小災害ということで、40万未満の農地等の災害復旧については現地等を確認しながら小災害ということでの対応をさせていただいております。

それで額の比較的少ないといいますか、土量等によりましてある程度10万円未満で維持、修繕程度の額でできる部分については、小災害ということにも当てはめられない部分があります。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） いいですか。

2番。

○議員（2番 藤井 克孝君） 今、小災害ちゅう話が出た中で、人力でできない分に対してはやっぱり多少なり予算を組んで、24年度またその自然災害とかいろいろ災害が起きる可能性ちゅうか、それは立てたらいけないんですけど、人力でできないその分に対しては、多少なりやっぱ

り援助されるようにして予算計上等を含めて検討されたらどうでしょうか。それを最後に聞いて、質問を終わります。

○議長（牧田 武文君） 岩山建設水道課長。

○建設水道課長（岩山 靖尚君） 小災害ということを申し上げました。それで小災害にもかからんといえますか、規模の小さいものにつきましては、20万円を上限の農業用施設補助という部分が2分の1対応ということで予算組みしております。その部分での対応等を検討できたらと思っております。

それと小災害等、また去年も補正で対応させてもらったわけですが、災害等の規模、また現状等によりまして、またそういう災害の補正の対応をさせていただきたいと思っております。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） じゃ質疑を終結し、進行いたします。

次に、給与明細書から最後まで、80ページから89ページまで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

以上で歳出に対する質疑を終結します。

続いて、歳入についての質疑を行います。

1款町税から14款使用料及び手数料まで、10ページから15ページまで、質疑ありませんか。よろしいですか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、15款国庫支出金から16款県支出金まで、15ページから23ページまで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、17款財産収入から22款町債まで、23ページから30ページまで、質疑ありませんか。

5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 22ページの上から5行目の特選三朝米販売収入というのが86

万4,000円上がっておりますけど、これは何でしょうか。

○議長（牧田 武文君） 早苗農林課長。

○農林課長（早苗 睦巳君） 今年度、三朝米ブランド化の事業の中におきまして、町内で食味コンテストを行いまして、その食味コンテストの優勝米につきまして町の方が販売をしていきたいというふうに考えております。その収入を上げさせていただいております。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） この優勝された米を販売するちゅうのは、その生産者からじゃ買い取りされて販売されるわけですか。

○議長（牧田 武文君） 早苗課長。

○農林課長（早苗 睦巳君） 買って販売という考え方をしております。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） これ今までそういう例がないわけですけども、これはどういう目的ですか。例えば農協に任せずに、農協に任せたら安くしか売れんけえ、町がどこぞに特別に高く売るという考え方でされるんですか。

○議長（牧田 武文君） 早苗課長。

○農林課長（早苗 睦巳君） 三朝の米がおいしい、安全というものを町内外にPRするために、通常で売られている価格よりも高く設定をしてブランドのイメージをアップさせるような事業でして、取り組みたいと思っております。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） 大変失礼をいたしました。

24ページのふるさと応援寄附金の件で、本当に基本的なことをちょっと副町長に確認をしたいと思います。

きのうの委員会で、町内の方々も対象になるという説明が課長からあったわけです。委員のメンバーは、よそへ出ているの方々、あるいはよそから三朝に泊まりに来られたの方々を含めた町外の方がこのふるさと応援寄附金にその対象になるという認識をしていたわけです。そこらで、町の考え方を再度確認をしたい、基本的なことを。副町長に。

○議長（牧田 武文君） 森脇副町長。

○副町長（森脇 光洋君） 御指名ありがとうございます。

ふるさと納税、基本的な考え方は、確かに議員おっしゃるとおり町出身の方でも町外に住んで

おられる方が町に対して寄附をしていただくというふうなのが趣旨だと思います。

ただ、制度の中では、町民の方が町に寄附するというを別に制限しているわけでもございませんので、やはり町政を応援していただく方というふうなことについては、町民の皆さんであってもそこはお願いしたいというのが趣旨だというふうに理解しております。以上です。

○議長（牧田 武文君） 4 番。

○議員（4 番 福田 茂樹君） 町内の方は、別の意味での寄附という考え方に持っていくことはできないのでしょうか。私は、これはやはりふるさと応援寄附金というのは町外を対象にした寄附金であるべきだというふうに認識しておりますけど、二本立てをするような考え方はないかどうか。

○議長（牧田 武文君） 森脇副町長。

○副町長（森脇 光洋君） 御承知のとおり、この予算につきましては半額相当分を旅館の利用券でお返しするというふうな制度になっておりますので、町民の方でいらっしゃってもこのふるさと納税制度に乗かって寄附をしていただければ、半額相当分は旅館街のチケットがいただけるというふうなことになりますので、そういう部分につきましては町民の方も旅館の方を利用していただくというふうなことができますので、そういう意味でも町政の活性化につながるというふうに思っておりますので、そういう形で考えたいというふうに思っています。

○議長（牧田 武文君） 4 番。

○議員（4 番 福田 茂樹君） あとはまた別の場でしたいと思います。

○議長（牧田 武文君） ほかに。よろしいですか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、第2表、債務負担行為、第3表、地方債、6ページから7ページまで及びその他全部について、質疑ありませんか。いいですか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

以上で議案第3号、平成24年度三朝町一般会計予算に関する質疑を終結いたします。

次に、議案第4号、平成24年度三朝町国民健康保険事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第5号、平成24年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第6号、平成24年度三朝町介護保険事業特別会計予算について、質疑ありませんか。
8番。

○議員（8番 横木 文雄君） 担当の委員会でもちょっとお話ししましたけども、24年度が介護保険料の改定の初年度になるわけです。3年間のローリングで運用するわけですが、初年度からは財源が余ってくるし、第3年度目には足らなくなってくるというそういう仕組みがあると思うんですが、初年度には計算上の数値をきっちり出して、基金として積み立てるという制度が適当ではないかというふうに思うわけです。

ここに上がってる基金は趣旨がちょっと違いますので、財政調整のための基金を設定される考えはないか。介護保険料の算定の中に委員として副町長も入っておられますので、副町長の考え方を聞きたいというふうに思います。

○議長（牧田 武文君） 森脇副町長。

○副町長（森脇 光洋君） 私が委員として入っております。いろいろ今勉強させていただいてるところでございますので、そのことにつきましてはまた内部で協議させていただきたいというふうに思っています。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

○議員（8番 横木 文雄君） 財政担当はどのように考えておられますか。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） 議員の方からありました財政調整基金としての性格の基金、確かにおっしゃるとおりでございます。そういうような意味合いもありますし、それから繰越金をもって充てるということもございますので、柔軟にその部分については必要性を考えて、年度の決算期を見ながら検討していきたいなというふうには財政担当課からとしては思っております。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑を終結し、進行いたします。

議案第7号、平成24年度三朝町簡易水道事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 8 号、平成 24 年度三朝町温泉配湯事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 9 号、平成 24 年度三朝町下水道事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 10 号、平成 24 年度三朝町集落排水処理事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 11 号、平成 24 年度三朝町分譲宅地造成事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 12 号、平成 24 年度三朝町会計事務集中管理特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 13 号、平成 24 年度三朝町財産区特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 14 号、平成 24 年度三朝町水道事業会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 15 号、平成 24 年度三朝町国民宿舎事業会計予算について、質疑ありませんか。
10 番。

○議員（10番 山田 道治君） 3 点ばかりお聞きしたいと思います。

説明資料の方で 215 ページだと思います。まず 1 点目は、目標を達成する施策の 1 番として

地域に愛される施設にしていくんだと。ある町民の方が、ちょっとふろの時間が何か不満言われたんで、ここの整合性はどうかという点と、2点目はパート従業員の経費節減というこれは必ず人件費のことなのかどうかということと、3点目は結婚式を30組組まれていますよね。去年の件数まだわからないんですけども、恐らく30件も結構難しいんじゃないかなと。待ってては30件は達成できないだろうと。プランナーの方が企画されて、きちっと運営されるとか何か事業を委託されるとか、成功報酬制を導入してこの数字を達成するとか、何か工夫されないとこの30組予算組まれてきちきちの予算になって、この数字が崩れるとバランスシートも崩れていくんじゃないかなと思いますので、そういう積極的な結婚式を30組達成するような方策を考えておられるのかどうか。3点で。

○議長（牧田 武文君） 知久馬国民宿舎事業管理者。

○国民宿舎事業管理者（知久馬孝紀君） 3点で順を追って説明いたします。

入浴の時間制限の件ですけども、現在4時から7時までですか、一般入浴の制限をしております。理由といたしましては、どうしても宿泊客とのいろいろな問題がありまして、トラブルが何件かありました。その件で、やはり制限するべきでないかということで現在は行っております。

外の露天ぶろについては制限はいたしておりませんので、その辺は御理解を願いたいというふうに思っております。

人件費の削減について、パートを含めてでございますけども、現在は時差出勤とか朝出て昼間休ませて夜出るというふうなことをしておりまして、去年に比べての人件費は若干でございますけども減っています。

結婚式の件ですけども、予算には30組組んでおりますけども、22年度が28件、23年度は今のところ3月末の予定ですけども激減しまして15組ということで、かなり収入減にはなっております。

ことは30組予定しておるわけですけども、なかなか達成は無理ではないかというふうな御意見でございますけども、いろいろな情報を得ながら努力はしておりますけども、産民の委員会でもそういう意見が出ました。ただ、結婚式の中で町内の結婚式が非常に少ない。町内の方の結婚式が少ない。その辺の理由についていろいろ検討してみたわけですけども、やはり余り地元が好まれていない傾向にある。なぜかといえば、あんまりプライバシーの問題等もあるようには考えるわけですけども、町内の方の結婚式ぐらいはやっぱりしていくぐらの営業努力が必要ではないかというふうには感じておるわけですけども、なかなかその辺の情報網というのが確立できておりませんので、今後検討はしてまいりたいというふうに思います。答弁にならないかもし

れませんけど。

○議長（牧田 武文君） 10番。

○議員（10番 山田 道治君） 1点目ですけど、やっぱりトラブルの原因ちゅうのは、そのトラブル解消のために町民の視点ではなくて観光客の視点に立たれたという理解でいいですよ。

それが1点と、それからやっぱりさっきの結婚式に関してですけども、自分がやっぱり仕掛けていくというですかね、営業はもちろんですけども仕掛けて、婚活みたいなやつをぜひ主催されて、1件でも2件でも、あるいはもっとふえるかもしれませんので、何かアクションを起こさんと昨年みたいな数字になっちゃうのかなとちょっと心配していますので。

○議長（牧田 武文君） 知久馬管理者。

○国民宿舎事業管理者（知久馬孝紀君） 結婚式については、いろいろ企画を出しておるわけです。三徳山での結婚式であるとか、キュリー広場でのチャペルの結婚式であるとかというふうな企画もパンフレット等、ネット等でやっておるわけですけども、なかなかそれが現実には結びつかないというのが現状でございます。

入浴制限につきましては、やはりそのトラブルの原因はせっき温泉地に来て入っておるときに作業服で来てとか、いろいろ文句を言われる方があるそうでして、一般の客の方が逆に怒っちゃいなるといようなことがある関係で、何点かそういう部分があった関係で、今のところそういうふうなことにしております。観光客をとりあえず優先をしているということです。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑を終結し、進行いたします。

議案第16号、三朝町地域の総合力を高め、自立を促進する条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第17号、三朝町被災者住宅再建支援条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第18号、三朝町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第19号、三朝町特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第20号、三朝町生活文化センター・町立みささ図書館の設置及び管理に関する条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第21号、三朝町介護保険条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第22号、三朝町特別医療費助成条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第23号、三朝町立福祉センターの指定管理者の指定について、質疑ありませんか。
4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） 議案の説明のときに、福祉センターの運営について社会福祉協議会に3年間指定管理を出すということでありました。適切な管理運営がなされているという説明があった中で、管理の部分は別として運営という部分、適切な運営というのはどういうことを指して適切な運営というふうに評価されたのか、お聞きをしたい。

○議長（牧田 武文君） 前田健康福祉課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 運営に関してでございますが、広く町民の方等に御利用いただくというふうなところが運営かと存じます。地域福祉という視点でございます。

その一例を挙げますと、例えば入浴に御利用になる方が利用者数がふえたというふうなところが御努力のたまものかなというふうなことで思っております。以上です。

○議長（牧田 武文君） 4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） 去年1年間、評議委員として出させていただきました。300円の入浴を100円に下げて、1年間で最初は60人だというたしか報告だったと思います。それ

が2倍だか3倍だかになった。これを経営努力だと言われました。私は違うと言いました。これはそういう事業であればやめるべきだと評議会でも言わせていただきました。

今の広く町民に使われているということであれば、別に社会福祉協議会でなくてもいいんじゃないかというふうなとらえ方をしますけども、常務で出ておられる副町長、何かそこら辺で。

○議長（牧田 武文君） 森脇副町長。

○副町長（森脇 光洋君） 入浴のお話ありがとうございました。確かに100円というふうな形に値下げをしまして、今の状況はかなり、ちょっと正確な数字は今持っておりませんが、多くの方が福祉センターの方に来ていただけるようになったというふうなことでございます。そのことによりまして、例えば来ていただく方に対しての声かけをして、いわゆるデイサービスにつながっていくような状況もあるというふうに聞いておりますので、そういう意味では町民の福祉の向上につきまして一定の役割を果たしていただいているというふうに理解しております。

○議員（4番 福田 茂樹君） ほかの選択肢はないかという。

○副町長（森脇 光洋君） ほかの選択肢……。

○議員（4番 福田 茂樹君） だけえ福祉協議会じゃなくて、違うところではどうですかという。

○副町長（森脇 光洋君） 社会福祉協議会、確かに町民の福祉の向上を図るためのほかの選択肢というのは、いろんな場面で例えば民間の施設でもあると思いますけども、一つの社会福祉協議会、町に1つ置かなければいけないというふうな法令のもとにある団体でございますので、そういう意味では必要があるものだというふうに考えております。以上です。

○議長（牧田 武文君） 4番、最後。

○議員（4番 福田 茂樹君） この運営という部分でどういうふうに評価するかというと、今から言うことはわからないんですけども、この3年間で5,000万近い赤字をいわゆる基金を取り崩している社会福祉協議会の運営、非常に危機感を持って見ているわけですが、その点で、この指定についてもその運営が適切になされているという中での判断でのこの指定なのかというのを再度お聞きして終わりたいと思います。

私、評議会も所管がかわりましたので山田委員長の方に任せておりますので、よろしくお願います。

○議長（牧田 武文君） 森脇副町長。

○副町長（森脇 光洋君） 指定管理につきましては、基本的にはその内部のいわゆる介護保険事業と、それから建物の管理運営というふうなことににつきましてのちょっと分けて考えていただきたいというふうに思います。

町が指定管理を今回お願いしたいというのは、福祉センターという施設についての管理運営という部分について指定管理をお願いしたいということでございますので、御理解いただきたいと思ます。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑を終結し、進行いたします。

議案第24号、三朝町と鳥取県との職員の研修に関する事務の委託に関する規約を変更する協議について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第25号、鳥取中部ふるさと広域連合規約を変更する協議について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第26号、定住自立圏形成協定の変更について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第27号、三朝町過疎地域自立促進計画の一部変更について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第28号、平成23年度三朝町一般会計補正予算（第7号）について、質疑ありませんか。
5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 午前中も質問しましたが、理解ができませんので再度質問させていただきます。

竹林整備地域活動支援補助金の減額499万1,000円。これ例えば個人で取り組んでもいいのかということをもまず1点。

それから、どういう仕方があるのか。何かこれという資格があって、それに対して補助金が違うというような話を聞く中において、どういうことをしたらどれだけ利用がやっぱり出るのかというような、ちょっと細部の説明を求めたいと思ます。

○議長（牧田 武文君） 早苗農林課長。

○農林課長（早苗 睦巳君） 実施主体は個人ではなくて、事業者並びに地域の集落。個人という

ですか、森・竹林所有者ですね、竹林所有者はいいですけども、竹林所有者、それから地域の集落であるとかNPO、それから森林組合等の団体というのも対象にはなりません。

それと、具体的に皆伐、すべて切る場合と、それから間を間引いて竹林としてタケノコをとる林として使うというようなやり方もございますので、それによって設定単価は違います。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 何ぼだいな。

○農林課長（早苗 睦巳君） 金額でしょうか。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） うん。

○農林課長（早苗 睦巳君） ちょっとたくさんありまして、抜き取りといいまして中に入れますけども、これもいろいろのりまして、伐採する竹林の中にある割合……。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 皆伐は何ぼ。

○農林課長（早苗 睦巳君） 皆伐はちょっと持ってきてませんね。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） あなたが言ったでしょ、皆伐と間伐とって。

○農林課長（早苗 睦巳君） 済みません。

皆伐については、手元にちょっと資料を持っておりませんので、申しわけありません。

○議長（牧田 武文君） しばらく休憩いたします。45分まで休憩いたします。

午後1時37分休憩

午後1時43分再開

○議長（牧田 武文君） 再開いたします。

早苗農林課長。

○農林課長（早苗 睦巳君） 大変申しわけありませんでした。

皆伐につきましては、ヘクタール当たり6,000本から7,000本切る単価でヘクタール当たり44万1,000円でございます。その85%が支給額となります。

抜き切りにつきましては、ヘクタール当たり6,500本までが149万4,000円でございます。その85%が支給額となります。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 要するに742万5,000円組まれて、使われたのが243万4,000円、3分の1しか予算が使われとらんという話の中において、多分この事業については区長会等でも説明を出されとると思うわけですけども、これだけ実績が上がらんだけん、1.7ヘクタールと言われとるわけですけども、半分ちょっとぐらいしかできとらんという流れに

において、何が原因でこれだけ進まなんだかということをやっと聞かせてください。竹林はこれだけようけ町内にあるのっていうことでええかいね。

○議長（牧田 武文君） 早苗課長。

○農林課長（早苗 睦巳君） この金額につきましては森林環境保全税をもとにしておりまして、その税額のもとになるものが県から配分が来ますので、その配分額というのが今回予算化されとる費用でございますので、当初見込みよりも配分額が少なかったために少なかったということでございます。

○議長（牧田 武文君） 5 番。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） 今、午前中も聞いたことを再々言わせてもらって悪いわけけども、配分額と言われるけども、今回もらえる県の補助金も 3 8 1 万円、去年も一緒。どういう配分額、配分額どがい違うですか。来きる金は一緒じゃないですか。

○議長（牧田 武文君） しばらく休憩いたします。

午後 1 時 4 6 分休憩

午後 1 時 4 8 分再開

○議長（牧田 武文君） 再開いたします。

早苗農林課長。

○農林課長（早苗 睦巳君） 昨年、平成 2 3 年度の補助金額のことでございますよね。

○議長（牧田 武文君） はい。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） これ 1 回じゃないだろ。

○議長（牧田 武文君） これで 3 回終わりましたので。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） 去年も 3 8 1 万円の補助金が来とる、ことしも同じ補助金が見込んで計上してあるわけだけえ、県から来るのは一緒でないかというだ。当初予算も上がっただけえな、さっき。同じ金額が出とるんじゃ、県からの。繰入金か、補助金か、3 8 1 万円。同じ金額が入ってるのに、もう一遍ならちゃんと聞かかいな、意味がわかっとらんようだけえ。聞いたら 1 回目だで。

○議長（牧田 武文君） もう 3 遍しとるだけえ。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） 3 回目かや。

○議長（牧田 武文君） うん、3 回しとる。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） 2 回だで、まだ。

○議長（牧田 武文君） 3遍しとる。

答弁、早苗農林課長。

○農林課長（早苗 睦巳君） 昨年の当初予算が742万5,000円でございます……。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 違うって、それはわかっとるだ。認識しとるだけ。県から来とる補助金が、昨年も381万円、ことしも381万円と同じ金額だということを言っとるだ、おれは。

それでさっきの実績は1.7ヘクタール、それは枠がないけえどうこうって、今こっちから枠がないけえその枠でないかと言われるけど、わからんけん確認してるわけであって、ことしも3ヘクタール見込どるわけだが。去年も一緒だ、3ヘクタール。3ヘクタール見込んで700何ぼつけてあった。それで今、皆伐と間伐とどげなって金額を聞いた。それは実績的には1.7ヘクタールしたと。それで去年は700何ぼ組んであって200何ぼ少ないけえ3分の1しか使ってないと。これぐらいの額かって聞いたわけだな。だけえこれは区長会なんかでも話しされとるだらあけど、何が原因でこれだけ減ったかということを知いとるわけだ。

こっちはな、県の予算の枠組みで面積の中に入らんだけえさせてもらえなんだというようなことをされるけえな、こっちの方が、私は知らんけえ確認してるわけだ。

○農林課長（早苗 睦巳君） 県の配分額がございまして、それをもとに要望の面積等も調整しながらしておりまして、結局要望の面積よりも少ない面積になってしまったということでございます。

○議長（牧田 武文君） 御理解ください。

次へ進みたいと思います。

ほかに。よろしいですか。

〔質疑なし〕

○議長（牧田 武文君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、議案第29号、平成23年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第30号、平成23年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 3 1 号、平成 2 3 年度三朝町簡易水道事業特別会計補正予算（第 1 号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 3 2 号、平成 2 3 年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 3 3 号、平成 2 3 年度三朝町会計事務集中管理特別会計補正予算（第 2 号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 3 4 号、平成 2 3 年度三朝町財産区特別会計補正予算（第 1 号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 3 5 号、平成 2 3 年度三朝町水道事業会計補正予算（第 2 号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

以上で質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいまの議題としております 3 3 件の議案のうち、議案第 3 号、平成 2 4 年度三朝町一般会計予算、議案第 2 8 号、平成 2 3 年度三朝町一般会計補正予算（第 7 号）については、5 人の委員をもって構成する一般会計予算審査特別委員会により審査することとなり、特別委員の選任は議長が指名することとなっております。

総務教育常任委員会から山田道治議員、横木文雄議員、産業民生常任委員会から福田茂樹議員、杉原憲靖議員、副議長、遠藤勝太郎議員、以上、5 名の諸君を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま指名いたしました 5 名の諸君を特別委員に選任することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 御異議なしと認めます。よって、総務教育常任委員会から山田道治議員、横木文雄議員、産業民生常任委員会から福田茂樹議員、杉原憲靖議員、副議長、遠藤勝太郎議員、以上、5名の諸君を指名いたします。

○議長（牧田 武文君） 以上で本日の日程はすべて終了いたしました。
本日はこれにて散会いたします。

午後1時55分散会
